

花びと通信

花と緑のあふれるまちづくり

No.42 2024年8月30日
花びと会ちば

【2024「大賀ハスまつり」開催！】

開催期間:6月15日(土)～23日(日)

共催:花びと会ちば・千葉市

会場:千葉公園内蓮華亭・ハス池周辺

千葉の初夏の風物詩「大賀ハスまつり」を開催できたことを関係団体のみなさまに深く感謝致します。NHKしゅと犬くんの放映や各新聞で大賀ハスの開花を掲載された事や千葉公園内に今春、オープンしたばかりの「芝庭」との相乗効果もあり、今年は大変多くの方が千葉公園の大賀ハスを見に来てくださいました。

開会セレモニーには神谷千葉市長をはじめ、区長、花のあふれるまちづくり推進議員連盟、関連団体の皆様方にご出席いただきました。「開花80周年に向けて『オオガハスの魅力発信アクションプラン』を策定し、千葉市の花である大賀ハスを市民の手で未来につなげていきましょう」との市長のご挨拶の後、象鼻杯の実演などが行われました。新企画の東大附属生態調和農学機構職員の石川祐聖さんによる「大賀一郎博士とハスの研究」と題した講演は学術



的かつ面白い内容で好評でした。また、2019年から交流がありました、佐賀県吉野ヶ里歴史公園の品川さんによる、ハスの葉を使ったボタニーペインティングは3日間の講座は大盛況でした。

会期中の土日には、綿打池周辺で飲食・物販、蓮華亭内では、お箏、バイオリン、和太鼓演奏、紙芝居ほか盛りだくさんのイベントが行われました。なかでも、ちはなちゃんのぬり絵、野菜スタンプはお子様に人気でした。大人気の象鼻杯は100枚の整理券が10分程で無くなりました。

早朝の大賀ハスガイドも好評でした。初の試みとしてハス守さんの「ミニガイド」も行いました。

また、蓮池を愛でながらのお茶席は、50席が約2時間で完売となりました。お茶席近くには、大きなハスの葉からシャワーのように水がでる「ハスの葉シャワー」が新展示され、ハスの特性を楽しく観察できました。産学官連携の近隣大学の学生ボランティア、関係団体ほか皆様方のご協力を頂き9日間の会期を無事終えることが出来ました。



(ハスの葉を使ったボタニーペインティング)
(中尾良枝)

【令和 6 年度総会報告】

◇ 開催日:2024 年 4 月 17 日(水)13:30～

◇ 会 場:千葉市民活動支援センター 会議室

◇ 出 席:会員数 58 名(出席 17 名 委任状 20 名)

《議 案》

1号議案 令和 5 年度事業報告

4号議案 令和 6 年度事業計画(案)

2号議案 令和 5 年度収支決算

5号議案 令和 6 年度収支予算(案)

3号議案 令和 5 年度監査報告

総会議案 1号議案から 5 号議案まで すべて可決いたしました。

【総会后 会員研修】

テーマ:公園の魅力創生

講 師: 斉藤久芳 元千葉市職員・花びと会ちば会員

都市公園は、行政が整備から管理運営まで行うのが一般的でしたが、行政改革の推進の一環として 2003 年に指定管理者制度が導入されました。指定管理者は、多様化・高度化する市民ニーズへの効率的・効果的な対応を図り、「市民サービスの向上」と「行政コストの縮減」を目的とした制度です。千葉市でも蘇我スポーツ公園や昭和の森等の大規模公園に指定管理者を導入していますが、身近な公園の大半は行政が直営で管理しています。私は、行政マン及び指定管理者として公園の管理運営に係わった経験から、市民サービス向上を目的とした「公園の魅力創生」についてお話しさせていただきました。

行政マンとして取り組んだ泉自然公園の魅力創生は、①公園の魅力情報の発信、②新たな魅力の創出、③公園サインの充実、④公園利用サービスの向上、⑤多様な連携による公園づくりなど。新たな魅力の創出として2015年に「ヤマコリ再生事業」をスタートさせました。

指定管理者として取り組んだ昭和の森の魅力創生は、①公園の魅力向上と賑わい創出、②様々な自主事業の実施、③積極的な広報・プロモーション活動など。賑わい創出として、①梅林の再生と活用、②森のマルシェ、③恐竜王国(新たな魅力の創出)、④スターライトキャンプなどを実施しました。この結果、公園利用者は、指定管理者以前の約1.34倍、利用者の満足度は98.9%を達成しています。

【移動研修】

◇ 日 時:2024年7月24日(水)8:00～17:00

◇ 研修先:東京大学大学院農学生命科学研究科附属生態調和農学機構 & 牧野記念庭園

◇ 参加者:17名

35 度以上の猛暑の続く7月下旬、都内2ヶ所を巡る研修がありました。過日の大賀ハスマつりで「蓮の研究」について講演していただいた東大附属生態調和農学機構の石川祐聖さんのご案内で東大田無キャンパス内のハスの見本園(圃場)を見学しました。観賞用ハスにかかる教育研修施設で 300 種以上の色も形も香りも様々なハスが栽培、研究されています。中に植物学者大賀一郎博士が発掘栽培に成功した「大賀ハス」、1000 枚もの花びらがある「千弁蓮」、クリーム色の花びらの「月のほほえみ」などの東大生れの品種登録されたハスも観ることができました。最先端の研究の現場を見学でき貴重な機会でした。益々、蓮に魅了されました。



その後、練馬に移動し「牧野記念庭園」を見学しました。連続テレビ小説「らんまん」で、植物学者牧野富太郎博士の晩年の舞台となった邸宅です。庭にはスエコザサやキツネノカミソリなど珍しい種類の植物や博士が命名した植物が生育しており、当時を再現した書斎は本と標本で埋もれており、研究に没頭する姿や息づかいが残っているようでした。

東大の研究員の方々、牧野博士、大賀博士すべての研究者の「植物が好き」という一途な思い、探求心、草花への情熱は今も昔も変わらない様です。蓮の魅力、植物に癒された充実した研修となりました。

(斉藤美智子)

【佐賀県とオオガハスに関する都市間交流協定を締結】

日時:2024 年7月18日

場所:佐賀県吉野ヶ里歴史公園

千葉市では、令和6年5月に策定した「オオガハスの魅力発信アクションプラン(2024～2027)」に基づき、オオガハスの魅力をより広く国内外へ発信することとしています。

本プランに基づく「オオガハスゆかりの都市などとの交流事業」の一環として、佐賀県とオオガハスに関する都市間交流協定を締結することとなり、7 月 18 日(木)に



佐賀県立吉野ヶ里歴史公園にて締結式を行いました。本協定は、千葉市と佐賀県がそれぞれの地で、オオガハスが咲き誇る風景を守り、オオガハスを活かしたまちづくりを進めるため、相互交流を図ることを目的としています。締結式当日は、佐賀県からは山口知事、千葉市からは神谷市長が出席しました。佐賀県知事は「オオガハスと一緒に吉野ヶ里歴史公園を盛り上げ、皆さんの心の灯になれば」と語り、千葉市長は「オオガハスがつないでくれたご縁を、都市間交流として大きくしていきたい」と語りました。今回の協定締結を契機として、千葉市と佐賀県が、歴史・文化的な資源であるオオガハスによって

つながる相互交流にて友好を深め、地域の魅力を一層高める事を目指していきます。

(千葉市緑政課 伊藤泰志)

【佐賀県立吉野ヶ里歴史公園との交流】

佐賀県立吉野ヶ里歴史公園は、優れた文化的資産である吉野ヶ里遺跡の保存・活用を図るために整備された公園です。園内の蓮池では、オオガハスが栽培されており、今年で開花 10 周年目になります。歴史公園の方が、2019 年に大賀ハスマつりに来園された時から交流を深めてきました。大賀ハス開花70周年記念フォーラムへの出席や今年度の大賀ハスマつりにハスの葉を使ったボタニーペインティング講習会のご協力も頂きました。

佐賀県と千葉市でオオガハスに関する都市間協定が締結され、協定締結式に、千葉市花のあふれるまちづくり推進議員連盟の石橋会長と仙波、高橋の3名が招待を受け参列させていただきました。当日は雨の予報でしたが、締結式に先立ち行われた「天女の舞」が始まると、不思議なことに、陽が差し込み、遺跡を背景にオオガハスが咲き誇り、その神秘的な光景は、まるで一幅の絵を見るようでした。参列者一同から「あー」感嘆の声があがりました。

佐賀県知事と千葉市長が協定書に署名、それぞれご挨拶があり、その後は地元の子供達と象鼻杯を行い最後に蓮池に肥料をまきオオガハスの成長を願いました。

これからも、オオガハスを通して民間交流を深めていきたいと思います。

(高橋公子)



「ハスをかんじるえびハス巻き！」

美味しかった！

千葉市が誇る4つの地域資源「加曽利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」のPRを目的とした、千葉市と千葉調理師専門学校主催の「都市アイデンティティ中国料理レシピコンテスト」が開催され、学生の皆さんが4つの地域資源を主題に創意工夫を凝らしたレシピの中から優勝作品として「オオガハス」をイメージした『ハスを感じるえびハス巻き』が選ばれました。市内の中国料理景山で、料理長がアレンジを加え、『えびハス春巻き』や蓮根を使った料理が8月中提供されていました。

【講師派遣事業】

コケ玉講習会を始めて4～5年になるでしょうか。コロナ禍で出来なかったこともありましたが、年々多くの参加をいただき感謝感謝です。 今年も公民館4館、いきいきプラザ1館の9講座



117名(うち親子講習の子ども10名含む)でした。コケを張り付ける基本的なものとミズゴケを張り付け毛糸を巻くものの2個作ってもらいました。猛暑続きでしたが無事終了いたしました。子どもたちが小さな手で一生懸命、親のサポートを受けコケ玉づくりに挑戦している姿は印象的でした。

コケ玉に使う植物は何でもありで、ホームセンターで入手可能です。コケは「ハイゴケ」が主ですが街中で力強く生きているコケのうち這う性質であれば使えます。コケ玉づくり自体難しいものではありませんが、こと管理となると悩ましいものです。特にコケを青々と保つのは水やり10年と言われますが、コケ管理はそれ以上かもしれません。コケの生育環境にできるだけ近づけ、水・光・温度・風通しなどいいあんばいに保つことなのですが、それがなかなかできません。

講習でつくった2個だけでなく、さらにいくつか作って置き場を変えるなど、またコケに話しかけ、友だちになるぐらいの気持ちで接すれば管理のコツが会得できるかもしれません。

(藤平 真一郎)

【市民会館 花壇】

4月の末に植えたジニア150ポットがこの夏の猛暑の中、照りつける太陽をものともせず、けなげに咲いています。ハツユキカズラやゴールデンモップもしっかりサポートしてくれています。

11月末に植栽するパンジーにバトンタッチするまでガンバレ！！

(花壇整備 9/17 10/15 8:30～9:30 ご協力をお願いします)



【今後の予定】

月日	内容	場所
11月20日～24日	コンテナガーデンコンテスト	千葉公園芝庭広場
11月24日(日)	ちはなちゃん誕生日会	同上
R7年3月2日(日)	公開講座	千葉市役所 1階正庁

個人会員＆賛助会員 募集！

花や緑に関心のある方一緒に活動しませんか。研修会、講座、講演会等を開催しています。

- ◆個人会員 年会費：1,000円
- ◆団体会員 年会費：5,000円
- ◆賛助会員 個人：年会費 一口3,000円
団体・企業年会費 一口5,000円



花びと会ちば事務局

「千葉市都市局公園緑地部緑政課」

Tel 043-245-5753 Fax043-245-5885

midoritohana@city.chiba.lg.jp